

第3回帯広交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会議事概要

日 時：平成22年3月18日 14:00～15:30

場 所：帯広市ハイヤー会館2階会議室

1. 開会

- ・北村会長による挨拶
- ・事務局より協議会成立の報告及び配布資料の説明

2. 議事

【竹下座長】

議題の地域計画案についてだが、まず1ページの「1. タクシー事業の適正化・活性化の推進に関する基本的な方針」について。小分けして「1. 帯広交通圏におけるタクシーの公共交通機関としての役割」について。まずこれについてご議論いただく。

「1. 帯広交通圏～」ではタクシーが公共交通機関として認められているということが書かれている。もし今なければ後でまたご意見をいただくとして、「2. タクシー事業の現状について」についてはいかが。

【事務局】

第2回の議論の中で、タクシー事業の収入減少の要因として、車の台数や地域の人口、運転代行の数の増減についてもどういった影響を及ぼしているかということも、入れるべきではないかというご意見をちょうだいしたので、事務局の方で加味して修正した。

次に2ページの「(3) 収益基盤の悪化」だが、文章がわかりにくかったので、前回のご意見をふまえて骨子案から修正している。続いて、2ページの「(5) 運転者の高齢化」について。前回データが集まっていなかったのだが、今回データが集まったので平均年齢の数字を入れさせていただいた。修正は以上である。

【竹下座長】

それでは、「2. タクシー事業の現状について」についてはいかが。

なければ4ページ「3. 取り組みの方向性について」についてはいかが。

それでは5、6ページの「地域計画の目標」でご意見・ご質問があれば出していただきたい。

【柴田委員】

3番目にタクシー運転者の年収が230万円と書いてあるが、230万円では足りないと思う。若い人であればこの額では結婚したくてもできない。本当はもう少しあげていただきたい。

ただ札幌のように300万円というのは到底無理だと思う。ただ、もう少しでも上げた方が、もっと良質な運転手さんが集まるのではないかと。労働団体としてはあまり低賃金で運転手を使っていると、悪質というかそういう運転手が残っていくのではないかと感じている。そこでもう少し各社に考えてほしい。実際に昨年度では190万円台である。

【竹下座長】

額の基準をどこにするかということだと思う。今回は平成13年度を基準にしたのだが、

そのほかに、なかなか基準にするところがないのではないか。

【事務局】

230万円が目標ではあるが、北海道の全産業の平均に可能な限り近づけることが目標で、当面は230万円ということである。いきなり平均の400万円台にするのは現実的に厳しいので、まずは規制緩和直前の平成13年度の230万円ということで書かせていただいた。平成13年度以外の基準となるものがあれば、各委員からご意見をちょうだいしたい。

【小林委員】

これは各社それぞれ違うし、金額を表示することは避けた方が良くはないか。例えば「平成13年度実績程度に引き上げる」というような表現はいかがか。

外部に説明する際に、「平成13年度とはどの程度か」と聞かれれば「230万円でした」と答えることはできる。これからの計画案の中にこの数字を盛り込むわけであるから、当然公になり、アバウトな数字を出すわけにはいかない。この「約230万円程度」という数字は単純な平均の数字であるので、避けた方が良くはないか。

【柴田委員】

数字はやはり目標にするわけであるから出しておかなければならないと思う。単に平成13年度実績としてしまうと、何も見えない中で進むことになりえる。金額を出す方がわかりやすいと思う。

一つの目安として、規制緩和の時の数字を事務局が出したと思うが、もう少しあげてほしいとは思っている。しかし、一つの目標としては230万円という「数字」は出した方がよいと思う。

【北村会長】

全産業の平均賃金はどこの地域の協議会でも使っている。経営者は全産業の平均にあげるのは到底難しいと考えているらしいが、労働者の意欲を高めるために、努めて目標としての数字を全産業の平均の488万円という数字を出すのはよいと思う。

しかし、帯広地域で月40万円を稼いでもその給料はもらえない。ということで、過去を振り返って規制緩和前の数字の230万円を出したわけである。今、やはり小林委員も言ったとおり、数字を出すものではないと思う。あくまで努力目標として、「全産業の平均賃金に近づくように」と、そういう内容にした方がよいのではないか。

【木川委員】

2ページのタクシーの現状で、明確に規制緩和前の数字が出ている。規制緩和によって悪くなっていったという認識があって、そういう全体の流れから考えると、規制緩和前の数字が大きな基準値になっていると思う。であれば、規制緩和前の230万円という数字を出したほうが良いと思う。

また、2ページの「(5) 運転者の高齢化」に「平均年齢57.6歳」とある。これとの対比で全産業の平均年齢42.7歳とあるが、この数字は帯広と他の各地域の平均年齢と比べてどうなのかということも入れた方がよいのではないか。帯広の地域の平均年齢が他より高いのかどうかというのはわかるのか。

【小林委員】

その数字は公開している。ただ、他の地域も同じような数字となっている。一般の方は

確かにタクシー運転手の平均年齢はわからないとは思う。ただ、帯広地域もだいたい道内の平均と同じである。

【竹下座長】

では戻って、目標の金額は入れるということによろしいか。また、金額は明確に「約」を取って230万円にするという修正はいかがか。

【柴田委員】

金額はそのまま、「約」を取るということによい。

【小林委員】

数字を入れるのであれば「約」を入れるべきである。この内容が公表され、現状で230万円以上を支給している会社もあるわけなので、この目標の数字を出すと、その会社は目標をどうすればよいか。

【木川委員】

この計画を作ると、フォローアップをしていくと思う。支局で各社から実績報告をいただいた数字から進み具合を検証していくことになると思う。そうすると、支局が検証していく目標数字としては2ページにある「230万円」がある。

よって、ここに「230万円」を書かないで、その場合、書き方を「平均年収を規制緩和前の平成13年度の平均年収程度に引き上げる」というようにすると印象が変わらないだろうか。

【事務局】

確かにこれは各社に正確な給与データをいただいて出した数字ではない。単純に一般的な全体の平均ということで金額そのものは参考値に近い人たちである。

【大西委員】

この「約230万円程度」を、「13年度実績程度」としても、前段に「230万円」という分析があるので、差し支えないのではないか。

ここで話すのは「230万円」とか「235万円」とかそういう数字ではなくて、そこを超える目標を決めることだと思う。労働団体の方はさきほど230万円をもっと上げてほしいとあったが、そういう金額の論議をするのではないので、必ずしもここに額の明示はなくてもよいのではないか。

【竹下座長】

前段2ページに平成13年度の平均230万円という数字が出ているので、ここでは「平成13年度実績」という表現であれば通じるという修正意見が出た。この点についていかがか。

【酒井代理委員（桑島委員）】

全体を見ればわかるので、特に数字を入れなくてもいいのではないかという印象を受ける。

【北村会長】

「(約230万円程度)」と括弧書きなので、無くてもよいのではないか。これは前段に

出ているので括弧書きなのではないか。数字は前段に出ているので柴田委員も心配することではないのではと思う。

【柴田委員】

であれば、「程度」という言葉は無くしてほしい。「規制緩和前の平成13年度実績の平均年収に引き上げる」としてほしい。

【竹下座長】

それでは、「(約230万円程度)」を「規制緩和前の平成13年度実績の平均年収に引き上げるということを目標とする」に修正するということがよろしいか。その他、5,6ページで何かあればお願いしたい。なければ特定事業の7ページから12ページの前段まで進むことにするが、事務局より修正点がある。

【事務局】

8ページのチャイルドシートの導入で、「短期」を「短期・中期」に変更し、もっと長い期間で取り組んでいただくようにした。

それから「観光タクシー乗務員制度導入」は「短期」だったが、先行して札幌地区で取り組むようで、まずは札幌で行ってから各地域に普及させるというスタンスになったので、「短期」では現実的に合わないので「中期」に延ばすことにした。

次に「禁煙車の導入」は、ご存じの通り厚生労働省から公共交通機関は原則全面禁煙にするということで、ぜひ積極的に取り組んでいただきたいので、実施主体はタクシー事業者、法人協会、個人組合で、時期は短期に設定させていただいた。

それから前回ホームページの開設とあったが、すでに法人協会にはホームページはあるということで、削除した。情報提供のWebサイトの開設を残して実施時期を「短期・中期」にした。

9ページの「市場調査、マーケティング等による需給構造分析」については時期を「短期」から「短期・中期」にした。

「防犯カメラ等の導入」についても実施時期を「短期」から「短期・中期」にして、広く取り組めるような形にした。

その他、実施主体が運輸局となっていたものを全て運輸支局に修正した。主な修正点は以上である。

【竹下座長】

では、この特定事業についてはいかがか。なければ次に、「特定事業計画を進めるにあたって留意すべき事項」だが、事務局より修正がある。

【事務局】

12ページの一番下の、「併せて、タクシー事業の適正化を推進するため、検査、処分その他の必要な措置を的確に実施することが必要である。」について、国ですべきことをもっと具体的にすべきということで、「併せて、タクシー事業の適正化を推進するため、厳格な監査、処分その他の必要な措置を実施するとともに、これらの改善がなされているかの確認を的確に実施する事が必要である。」というように修正させていただいた。

それとさきほど言い忘れたのだが、10ページの特定事業の中で、「(5)交通問題、環境問題、都市問題の改善」の「帯広駅周辺、繁華街、大型スーパー等における混雑地域における違法駐停車の抑止策の構築と徹底」の実施主体に警察が骨子案に入っていたけれども、警察は立場が違うので、もちろんアドバイスはいただくけれども実施主体にはなり得

ないということで削除した。

【竹下座長】

それでは何かご意見などあればお願いしたい。なければ全体を通して意見をお願いしたい。

それでは地域計画案について決議を行うが、本日いただいた意見をもとに修正するというので、ご承認をいただきたい。

【柴田委員】

この230万円を目指すために、事業者団体としてのハイヤー協会としてはどのように行う予定かお聞きしたい。例えば減車はどのように考えているか。

【北村会長】

まず、今日、今後このように進めていくことが議決される。ただ、今おっしゃられたように今のままでいけばさっぱり良くなる。それはあたっていると思う。今、帯広交通圏のタクシー事業者はそれぞれ会社規模がかなり違う。その違った中で、各社供給過剰の解消に向けた取り組みも行うわけだが、これがまずなかなか進んでいかない。

消費者協会の大西委員が最初におっしゃったように、台数が減ってもお客様は増えてこない。なので、お客様が増えることが一番の運送収入が増えることになる。台数が減ったから運送収入が増えるわけではない。個別の乗務員からすれば、働く車両が減れば多少は収入は増える。しかし、相対の事業そのものが大きくなる。そこがやっぱりこれから先のジレンマである。車両を減らしても乗務員はすぐ減らせない。

【柴田委員】

会長の言うこともわかる。ただ、今実際は帯広市内の乗務員の中である会社でクビになった者が他社で雇用される。それがグルグル回ってるだけで、人数が安定しているだけである。そういう悪質な運転手がいることで、お客さんが減ることにつながるのではないか。

【北村会長】(ハイヤー協会会長)

その話はここでする議論ではない。この地域計画の策定は国が機会を作ってくれて、それが決まったらそれは我々はやるしかない。各社できることとできないことがあると思う。例えば費用がかからないのは禁煙があげられる。デジタル GPS-AVM もあるが、規模の大きい会社なら効果はあるが、規模が小さい会社ではそれほど効果は上がらない中で、実際やろうと努力している会社もある。

各社努力していく中で、それを事業者団体があれこれやりなさいというようなことは言えない。帯広は帯広でこの土俵の中で、なんとか打開策を見つけていこうということではないか。この協議会の場で、事業者と労働組合の話をするのは違うと思う。

【竹下座長】

結局今後、事業者の方々がこの地域計画の目標の中からできるものを選んで、特定事業計画の認定申請を出していただきます。それは提出するだけでなく、公共交通として認められるように、活性化になるように、実施していただくことになる。

ではもう一度決議を行うので、地域計画に反対される方は挙手をお願いしたい。保留される方は挙手をお願いしたい。賛成の方は挙手をお願いしたい。

それでは、全会一致で承認されたということで、地域計画案を帯広交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会の地域計画とする。

【事務局】

協議会の今後については、特定事業計画の実施に移っていくということになる。また、フォローアップの協議会も開催することになっている。そこでは、各事業者さんの特定事業計画の認定申請状況、国の認定状況を報告することになる。また、地域計画については後日公表する。

【竹下座長】

今後、フォローアップの協議会も開催されるので委員の皆様にはよろしく願いたい。

【北村会長】

本日は大変お忙しい中、我々ハイヤータクシー事業のための活性化協議会に参加いただき感謝している。おおむねこれから進むべき道はここで集約されたわけだが、あとは年に1回程度、フォローアップの協議会もあるので、ご協力をお願いしたい。委員の方についても、何かタクシー事業のことでご意見ご要望があればちょうだいしたいと思う。

それではこれをもって第3回帯広交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会を終了させていただきます。